

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	明治大学
申 請 区 分	タイプB
〔評価コメント〕	
<p>本構想は、グローバル 30 等で行っていることを推進するものであり、海外の大学との連携プログラムに工夫が見られ、魅力的で効果的なグローバル人材育成構想となっている。特に、アメリカ・ノースイースタン大学とのダブル・ディグリーを始めとする連携事業は興味深い。同大学のインターンシップと就職スキームを活用し、アメリカにおけるグローバルキャリア形成への準備教育が展開されると同時に、帰国後ダブル・ディグリーとして学位が授与されるという新たな国際連携プログラムが開発される。テンプル大学、デューク大学との間には、別のスキームやモデルが開発され、多様で有効なグローバル人材育成プログラムモデルが開発されるという点で期待できる。また、当該プログラムを量的に拡大できれば、全学的な国際化推進にも大きく寄与すると思われる。このように、多様な海外研修・留学プログラムを体系化して提供しており、「留学促進プログラム」は、設定されたグローバル人材像の育成と有機的に連携している。この仕組みは、ダブル・ディグリー・プログラムが実現すれば、より高い効果が期待できる。</p> <p>しかしながら、語学教育において大学側の態度が能動的であるとは思われず、特に、入学後の教育が学生本位であり、モチベーションを与える手法が弱いように思われる。また、育成されるグローバル人材の目標が、母集団の大きさやグローバル 30 の採択大学であるということも勘案すれば低いのではないかとと思われる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20 年、30 年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にする国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	